

各病院の主な取り組み

各センターにおいては、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取り組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<令和7年度の取り組み>

◆ 大阪急性期・総合医療センター

- 高度救命救急センターとしての大阪府南部救急医療体制の確保・充実
(救急車搬入患者数:令和7年度 8,021人 [令和6年度 8,401人])
- 大阪・関西万博における医療救護体制の構築及び運用、医療従事者の派遣並びに緊急事案への対応に係るマニュアルの整備など、安心・安全な体制整備に貢献
- 地域がん診療連携拠点病院として総合的ながん医療の提供
(手術支援ロボット手術件数:令和7年度 458件 [令和6年度 414件])
- 心疾患・脳血管疾に対する専門医療の提供
(経皮的動脈弁置換術(TAVI)実施件数:令和7年度 54件 [令和6年度 68件])
(経皮的僧帽弁接合不全修復術(M-TEER)症例数:令和7年度 64症例 [令和6年度 47症例])
(左心耳閉鎖術件数:令和7年度 23件 [令和6年度 9件])
(血栓回収療法件数:令和7年度 36件 [令和6年度 32件])
- 大阪府市共同 住吉母子医療センターにおいて院内の連携強化による高度医療の実施及び周産期医療の充実
(分娩件数:令和7年度 1,180件 [令和6年度 1,152件])
(うち無痛分娩件数:令和7年度 174件 [令和6年度 150件])
- 民間病院では実施できない生殖医療(合併症対応、人材教育等)の推進
(生殖補助医療(ART)実施件数 :令和7年度 151件 [令和6年度 129件])
(生殖補助医療(ART)に係る妊娠数:令和7年度 64件 [令和7年度 52件])

◆ 大阪はびきの医療センター

- 南河内地域の医療ニーズに応える拠点病院としての高度医療の提供
(救急搬送受入件数:令和7年度 2,371件 [令和6年度 2,572件])
(ロボット支援手術件数:令和7年度 142件 [令和6年度 83件])
- 南河内地域における最多分娩実施機関として、908件の分娩に対応 [令和6年度 985件]
(うち無痛分娩件数:令和7年度 342件 [令和6年度 292件])
- 難治性の呼吸器疾患や多剤耐性結核患者等に対する専門医療の提供
(肺がん新入院患者数:令和7年度 982人 [900人])
(結核入院勧告新患者数:令和7年度 51人 [令和6年度 56人])
(呼吸器疾患関連救急搬送受入件数:令和7年度 695件 [令和6年度 765件])
- アレルギー疾患医療拠点病院として、総合的なアレルギー疾患対策の実施
(急速免疫療法実施数:令和7年度 22件 [令和6年度 13件])
(アトピー性皮膚炎症例数:令和7年度 3,488人 [令和6年度 3,731人])
(食物チャレンジテスト実施数:令和7年度 1,274人 [令和6年度 1,271人])
(薬剤アレルギー入院患者数:令和7年度 35人 [令和6年度 44人])
- 大阪府がん診療推進病院として、積極的な患者の受入れ
(新入院患者数 令和7年度 2,060人 [令和6年度 1,919人])

◆ 大阪精神医療センター

- 府内の基幹精神科病院として、措置入院や緊急措置入院等の受入を実施
(措置入院等:令和7年度 67件 [令和6年度 65件])
- 発達障がい診療拠点医療機関として児童思春期精神科医療の充実及び子どもの心の診療拠点病院として人材養成研修等の実施による府内診療体制の充実
(発達障がい診断初診件数:令和7年度 244件 [令和6年度 198件])

- (発達障がい診断初診待機患児数:令和7年度 25 件 [令和6年度 73 件])
(「子どもの心の診療機関マップ」府内登録医療機関数:(令和7年度 86 機関[令和6年度 72 機関])
- 依存症治療・研究センターにおいて、薬物依存・アルコール依存・ギャンブル等依存の入院及び外来で治療プログラムの実施
(プログラム参加実績:①外来患者延べ人数 734 人 実人数 108 人[令和6年度延べ人数 889 人 実人数 144 人] ②入院患者 実人数 38 人[前年度 46 人])
 - 精神疾患患者の地域移行の取組を推進するため、アウトリーチの実施とともにリハビリ部門(作業療法、デイケア)、在宅医療部門(訪問看護)を強化
(訪問看護実施件数:令和7年度 5,865 件 [令和6年度 5,765 件])
 - こころの科学リサーチセンターにおいて基礎研究・臨床研究、政策効果検証までの多角的な調査研究を実施
(認知症・依存症部門:英文論文 19 件及び国内論文 24 件を発表、共同研究・受託研究 11 件実施)

◆ 大阪国際がんセンター

- 全国トップレベルの患者数であるがん医療の基幹病院として、積極的な患者の受入れ
(新入院患者数:令和7年度 18,031 人 [令和6年度 17,931 人])
- 難治性がん・高度進行がん・希少がんをはじめとするがん患者への最適な集学的治療の実施
(手術実施件数:令和7年度 4,454 件 [令和6年度 4,269 件])
(外来化学療法件数:令和7年度 25,960 件 [令和6年度 26,507 件])
(高精度放射線治療 IMRT・VMAT 件数:令和7年度 22,038 件 [令和6年度 23,900 件])
(「希少がんホットライン」相談件数:令和7年度 456 件 [令和6年度 481 件])
- 患者一人一人の症例に最適な治療法の選択や低侵襲ながん手術の実施
(手術支援ロボット手術件数:令和7年度 867 件 [令和6年度 720 件])
(ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術・EMR 内視鏡的粘膜切除術:令和7年度 2,214 件 [令和6年度 2,351 件])
- がんゲノム医療拠点病院として、がんゲノム医療を推進
(エキスパートパネル(専門家会議)実施件数:令和7年度 562 件[令和6年度 553 件])
- 悪性腫瘍疾患患者に対する診断から治療まで、新しい診断や治療方法の研究開発等を実施

◆ 大阪母子医療センター

- 総合周産期母子医療センターとして高度かつ安定的な周産期医療を提供
(分娩件数:令和7年度 1,828 件 [令和6年度 1,924 件])
(母体緊急搬送受入件数:165 件 [令和6年度 170 件])
(新生児呼吸療法実施患者数:280 件 [令和6年度 263 件])
- 小児中核病院として、新生児・小児に対する高度専門医療を提供
(手術実施件数:令和7年度 3,804 件[令和6年度 3,968 件])
(新生児を含む1歳未満児に対する外科手術:令和7年度 543 件[令和6年度 563 件])
- 小児救命救急センターとして、二次救急から三次救急まで、積極的に小児の救急患者を受入れ
- 研究所において、原因不明の先天性等新生児・小児疾患に対しての系統的な診断・解析の実施